

環境管理中期5カ年計画を策定、 環境保全・製品安全性・労働安全衛生を強化

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区/社長:石田 明)は、2000年4月、新たに環境管理中期5カ年計画を策定し、環境保全および人と製品の安全確保の実行を通じて、企業の社会的責任を全うし企業価値の向上を目指すことを方針として「エコ・バリュー21」*活動を開始します。

「エコ・バリュー21」活動を通して、当社は環境活動を評価するための環境報告書、環境会計の公表、LCA*(ライフサイクルアセスメント)手法を取り入れた環境リスク管理システムおよび全社統合環境マネジメントシステムの構築、開発・営業部門の品質マネジメントシステムおよび労働安全衛生マネジメントシステム*(OHSAS18001)の構築を目指します。

当社は、1994年7月に環境管理室を設置し、製品の安全性や環境管理の取り組みに着手するとともに、環境保全についての自主行動計画「環境ボランティアプラン」を策定。以来、環境に配慮した技術を追究することにより、世界の人々が自然とともに豊かな未来を共有できる社会の実現に貢献することを全社環境理念として掲げて取り組んでおり、1997年2月、本社事業所におけるISO14001環境マネジメントシステムの認証取得を皮切りに、環境マネジメントシステム文書の電子化を実現するなど、同活動を他事業所に展開。1999年12月をもって全事業所での取得が完了しました。また、1998年2月、全製造事業所において品質マネジメントシステムISO9001/9002規格の認証取得が完了しています。

「エコ・バリュー21」における重点施策は、次のとおりです。

1. 環境報告書、環境会計、品質会計の導入
2. 環境および品質に対する内部監査制度を全社的に統一
環境に対する管理の向上と全社レベルでの一貫性を図るため、事業所単位で取り組んでいる環境の内部監査制度を全社的に統一した制度に再構築する。同様に、品質の内部監査制度についても統一する。
3. 製品品質を国際規格に適合するシステムを構築
危険評価・信頼性評価・環境影響評価*・苦情処理・梱包などの製品に関わる各種規格および品質マネジメントシステムISO9001規格を用いて、製品の品質を国際規格に適合させるためのシステムを構築する。これにより、各種製品安全標準・基準書類および品質評価システムの適合証明を公的認証機関から得る。
4. 環境リスク管理システムを構築
LCA手法に基づいて、製品開発においては環境適合設計の技術標準や基準類を整備し、さらに製造過程で使用する化学物質の管理や資源の再活用を推進する。これにより、環境負荷を軽減し、環境リスクを低減させるとともに厳しく管理する。
5. 全事業所を統合した環境マネジメントへの展開
環境マネジメントシステムを事業所別から全事業所に統合したシステムに再構築する。これにより、全社統合認証の取得と環境への対応の一貫性の維持・管理が容易となり、さらにコストの低減にもつながる。

6. 開発および営業部門に品質マネジメントシステムを導入
開発および営業部門に品質マネジメントシステムを導入し、製品開発の品質の向上を図るとともに、営業活動における顧客満足度の向上も目指す。
7. 労働安全衛生マネジメントシステム*（OHSAS18001）の構築
労働災害や事故によるリスク回避を図るため、本社地区事業所を中心に段階的にシステムを確立し、全社統一システムを構築する。

環境管理中期5カ年計画

| 大項目 | 2000年度 | 2001年度 | 2002年度 | 2003年度 | 2004年度 |
|--------------------|-----------------------------------|-----------|--------|-------------|--------|
| 製品安全関連 | 製品品質の国際規格の適合システムの構築 | | | | |
| 品質マネジメントシステム関連 | 開発本部および営業部門の品質マネジメントシステムの構築 | | | 品質会計の導入 | |
| 環境マネジメントシステム関連 | | 内部監査制度の統合 | | 全事業所のシステム統合 | |
| | 環境適合製品の開発 (有害化学物質の削減・資源の再活用含む) | | | | |
| | 環境報告書の公表および環境会計の公表 | | | | |
| 労働安全衛生マネジメントシステム関連 | 労働安全衛生マネジメントシステムの構築および認証取得 | | | | |

用語説明：

- *「エコ・バリュー21」とは、21世紀に向かって、当社の事業活動・製品・サービスにおいて企業活動を向上させるための環境保全・製品安全性・製品品質・労働安全衛生の総合的な活動の総称。
- * 環境報告書とは、基本方針、目標、具体的な活動、エネルギーや原材料削減データなどを含めた環境保全活動全体の結果を掲載したもの。
- * 環境会計とは、環境保全に要した費用や効果を損益計算書など財務会計に似た手法で金額として評価したもの。
- * 品質会計とは、製品の品質改善活動に要した費用と同活動による節約効果(製品の仕損費、トラブル件数の削減)を対比し、品質改善活動の効果を算定したもの。
- * 環境影響評価とは、活動、製品、サービスに関する環境側面を調査し、決められた手順と判断基準をもとに環境への影響の有意さを評価すること。
- * LCA(ライフサイクルアセスメント)とは、製品の原材料の採取から製造、使用および処分に至る生涯(すなわち、ゆりかごから墓場まで)を通しての環境側面および潜在的影響を調査する手法。
- * 労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)とは 事業者が労働者の協力の下に、「計画 - 実施 - 評価 - 改善」という一連の過程を定めて、連続的かつ継続的な安全衛生管理を自主的に行うことにより、労働災害の潜在的危険性を低減するとともに、労働者の健康の増進および快適な職場環境の形成の促進を図り、事業場における安全衛生水準の向上に資することを目的とする新しい安全衛生管理の仕組み。